

令和6年度の始まりにあたって

4月8日(月)

令和6年度がスタートしました。今学期も離任式(ビデオレター実施)は中止し、着任式からのスタートとなりました。桜満開の中で今日を迎えました。1つ学年があがったことを自覚し、新たな決意の中で今日を迎えているのではないかと思います。これから自分の成長に挑戦し、粘り強くあきらめないみなさんの姿が多くみられることを願っています。時にはうまくいかなくて、目標を見失ったり、いやになったりすることもあるかもしれません。そんなときは、歩みを止め、自分を見つめなおしたり、誰かにアドバイスをもらったりしてみてください。頑張ることは大切ですが、頑張りすぎないことも大切です。クラス発表・着任式・始業式を体育館で行いました。



〈始業式の校長講話〉

- 1 今年去年の続きではない!
- 2 A B C Dの原則 **あたり前のことを** **バカにせず** **ちゃんとすることが** **できる**青中生徒
- 3 自分の吐いている言葉が自分の未来を作っている!

ネガティブな口癖を止めポジティブな肯定的、建設的、解決思考の言葉を……

令和5年度の修了式でも言いました、卒業式でも言いました、昨年1年間言い通したことは「最高の準備をして最高の結果」です。

～卒業式式辞より～ 学校行事はもちろんですが何事にも本番はもちろん大切ですがそれまでの過程(準備)がどれだけできたのか、君たちの努力する姿を見てきた後輩たちが「あんな3年生になりたい」の言葉通り青垣中学校を幸せいっぱいにあふれさせてくれて本当にありがとう。人はほめられる(認められる)ことで自分に自信を持ち、価値ある行いができるようになり、安心感のある安定した居心地のいい集団を作ります。

昨年38年ぶりに日本一になった阪神タイガース近本光司選手は次のように言っています。「生きていれば、いい時も悪い時もあります。野球で例えるなら、いい時はたまたま打ってもヒットになりますし、何をしてもうまくいきます。でも、大切なのは、悪いときにどれだけできるかです。悪い時になったらなにもしない、すぐに諦めてしまう。そういう人を見て、夢を見たいと思うでしょうか。いい時に夢を見させられるのは簡単です。悪い時、つらい時にどれだけ夢を見させられるか。結果の良し悪しではなく、自分のやるべきことができるかどうか。僕は必ず全力で走ります。もちろんしんどい時もあります。それでも、最後まで諦めずにやると心に決めて試合に臨みます。」

本年度の青垣中学校の学校教育目標は、「ふるさと青垣を愛し自ら学びたくましく生きる児童生徒の育成～自ら学び 自ら鍛える 地域に誇れる 青中生～」です。あたり前のことを馬鹿気にせずちゃんとできる生徒を目指します。あたり前のA、馬鹿気にのB、ちゃんとのC、できるのDから、A B C Dの法則といいます。自分の行動が、A B C Dの法則にあっているか、地域に誇れるかということを絶えず振り返

って行動してください。昨年、素晴らしい成果を挙げた青垣中学校の生徒として、みなさんはこのことをしっかり受け止めて頑張ってくれるものと期待しています。



3年1組学級組織決定



3年2組学級組織決定



2年生学年集会



下駄箱の移動



1学期始業式



着任式